

令和 7 年度

クリーニング師試験 筆記試験問題

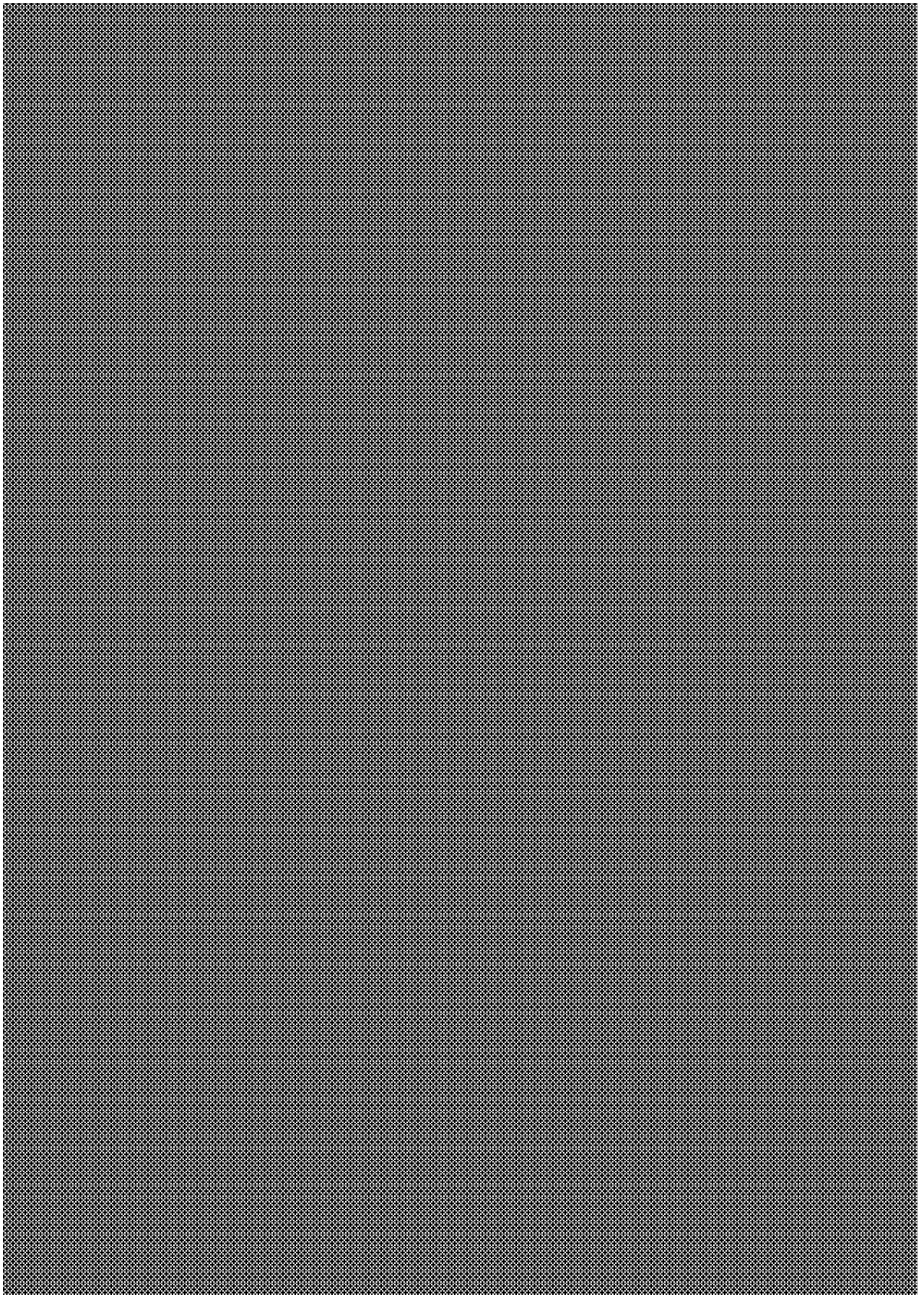
試験日	令和 7 年 10 月 31 日（金）
試験時間	午前 10 時 00 分～10 時 45 分

【受験上の注意事項】

- 1 問題用紙と解答用紙は別々です。解答は必ず解答用紙に記入してください。
- 2 解答用紙に、受験番号と氏名を記入してください。受験番号が記入されていない場合は、解答が無効となります。
- 3 問題は、衛生法規に関する知識：5 問、公衆衛生に関する知識：5 問、洗濯物の処理に関する知識：5 問で全 15 問です。
- 4 試験時間中に発言をしてはいけません。用事があるときには黙って手をあげてください。なお、問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- 5 試験時間は 45 分間です。試験開始後 20 分が経過したら退室できますが、退室した後は、再入室することはできません。
- 6 試験問題は持ち帰ることができます。

指示があるまで、この問題用紙を開いてはいけません。

山 梨 県



衛生法規に関する知識

【問題 1】

次のクリーニング業法に規定する目的に関する記述について、（ ）の中に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、1～3から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

この法律は、クリーニング業に対して、（ ア ）衛生等の見地から必要な指導及び取締りを行い、もつてその経営を（ イ ）の福祉に適合させるとともに、（ ウ ）の利益の擁護を図ることを目的とする。

- | | （ ア ） | | （ イ ） | | （ ウ ） |
|---|-------|---|-------|---|-------|
| 1 | 環 境 | — | 社 会 | — | 国 民 |
| 2 | 公 衆 | — | 公 共 | — | 利用者 |
| 3 | 公 衆 | — | 国 民 | — | 営業者 |

【問題 2】

クリーニング業法施行規則第 1 条に規定する、消毒を要する洗濯物として、正しいものはどれか、1～3から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。ただし、洗濯物は伝染性の疾病にかかっていない者又は伝染病の疾病にかかっている者に接していない者が使用した物で、いずれも営業者に引き渡される前に消毒されていないものとする。

- 1 お祭りで使用した浴衣
- 2 お祭りで使用した法被^{はっぴ}
- 3 お祭りで使用した手ぬぐい

【問題 3】

クリーニング師の免許についての記述として、誤っているものはどれか、1～3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 クリーニング師の免許は、都道府県知事がクリーニング師試験に合格した者に与えることとなっているため、合格者には免許申請の手続きがなくても、クリーニング師の免許を与えなければならない。
- 2 クリーニング師が免許証を破り、汚し、又は失ったときは、その旨を書き、破り、又は汚した場合においてはその免許証を添え、1月以内に免許を与えた都道府県知事に再交付の申請をしなければならない。
- 3 クリーニング師は、その本籍又は氏名を変更したときは、10日以内に、免許証の訂正の申請を免許を与えた都道府県知事にしなければならない。

【問題 4】

クリーニング業法に規定する営業者の衛生措置についての記述のうち、誤っているものはどれか、1～3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 営業者は、洗濯物の洗濯をするクリーニング所に、業務用の機械として洗濯機、脱水機及び乾燥機をそれぞれ少なくとも一台備えなければならない。
- 2 洗濯物を洗濯又は仕上げを終わったものと終わらないものに区分しておかなければならない。
- 3 洗場は、床が不浸透性材料（コンクリート、タイル等汚水が浸透しないものをいう。）で築造され、これに適当な勾配と排水口が設けられていなければならない。

【問題 5】

クリーニング業法に規定する利用者に対する説明義務等についての記述として、誤っているものはどれか、1～3から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 クリーニング所においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び電話番号を店頭に掲示しておくとともに、洗濯物の受取及び引渡しをしようとする際に、これらの事項を記載した書面を利用者に配布しなければならない。
- 2 クリーニング所を開設しないで洗濯物の受取及び引渡しをすることを営業としようとする車両を用いた店舗（無店舗取次店）においては、苦情の申出先となるクリーニング所の名称、所在地及び電話番号を車両の見える場所に掲示しなければならない。
- 3 営業者は、洗濯物の受取及び引渡しをしようとするときは、あらかじめ、利用者に対し、洗濯物の処理方法等について説明するよう努めなければならない。

公衆衛生に関する知識

【問題 6】

公衆衛生の定義に関する以下の記述について、（ ）の中に入る語句の組み合わせとして、正しいものはどれか、1～3から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

公衆衛生の定義について、広く知られているのは（ア）による定義である。ここでは、「公衆衛生とは、環境衛生の改善、伝染病の（イ）、個人衛生の原則についての個人の教育、疾病の（ウ）と治療のための（エ）と看護サービスの組織化、および地域社会のすべての人に、（オ）のための適切な生活水準を保証する社会制度の発展のために、共同社会の組織的な努力を通じて、疾病を予防し、寿命を延長し、肉体的、精神的健康の能率の増進をはかる科学であり、技術である。」と述べられている。

	（ア）		（イ）		（ウ）		（エ）		（オ）
1	ウインスロー	－	予防	－	検査	－	医薬品	－	生活維持
2	WHO	－	治療	－	早期診断	－	医療	－	健康保持
3	ウインスロー	－	予防	－	早期診断	－	医療	－	健康保持

【問題 7】

クリーニング所における衛生管理要領に規定されている指定洗濯物の消毒方法についての記述として、正しいものはどれか、1～3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 塩素剤による消毒では、さらし粉等を使用し、その遊離塩素 2 5 0 ppm 以上の水溶液中に 3 0℃以上で 5 分間以上浸す。
- 2 界面活性剤による消毒では、逆性石ケン液等の殺菌効果のある界面活性剤を使用し、その適正希釈水溶液中に 3 0℃以上で 1 0 分間以上浸す。
- 3 蒸気による消毒では、蒸気がま等を使用し、8 0℃以上の湿熱に 5 分間以上 1 0 分以内で触れさせる。

【問題 8】

ノロウイルスに関する次の記述として、誤っているものはどれか、1～3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 ノロウイルスで汚染されたリネン類の下洗い後の消毒は、8 5℃で 1 分間以上又は 8 0℃で 1 0 分間以上の熱水洗濯が適しているが、熱水洗濯が行える洗濯機がない場合は、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒が有効である。
- 2 ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は一年中発生しているため、吐物の処理に備えて、常にアルコール消毒の準備をしておくことが肝心である。
- 3 ノロウイルスによる吐物等が乾燥すると付着した埃とともに空気中を漂い、これが口に入って感染することがあるため、吐物等が乾燥しないうちに床などに残らないよう速やかに処理を行うことが重要である。

【問題 9】

廃棄物管理に関する次の記述として、正しいものはどれか、1 ～ 3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 廃棄物の処理を処分業者に委託するときは、マニフェストの交付が義務づけられているが、収集運搬業者に委託するときはマニフェストの交付は不要である。
- 2 廃棄物排出業者は、処理業者から処理終了のマニフェストを受け取ったときは、委託内容どおり適正に処理されたかを確認しなければならない。
- 3 マニフェストを交付した全ての排出事業者は、前年度 1 年間の交付等の状況を報告書にまとめて厚生労働大臣に提出しなければならない。

【問題 10】

クリーニング店における感染症対策に関する次の記述として、誤っているものはどれか、1 ～ 3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 従事者の健康状態は感染流行期のみ確認の必要があり、常に気を付けている必要はない。
- 2 全ての洗濯物には微生物汚染があり、有機物も存在するため、時間経過とともに増殖する可能性がある。
- 3 洗濯前の委託物に触れる場合には、マスクとエプロンの着用と接触後の手洗いもしくは手指消毒が重要である。

洗濯物の処理に関する知識

【問題 1 1】

次のシミ抜き処理の進め方に関する記述について、（ ）の中に入る語句の組み合わせとして、最も適したものはどれか、1～3から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

シミ抜きは、①（ ア ）、②（ イ ）、③（ ウ ）、④酸化漂白処理、⑤還元漂白処理の順に処理を進め、処理の効果が認められるものについては、その処理を徹底して行うようにする。

	（ ア ）		（ イ ）		（ ウ ）
1	水溶性処理	—	酵素処理	—	油性処理
2	油性処理	—	酵素処理	—	水溶性処理
3	油性処理	—	水溶性処理	—	酵素処理

【問題 1 2】

クリーニングの仕上げに必要な3つの条件に関する記述として、誤っているものはどれか、1～3から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 湿気：繊維の弾性を回復させる。
- 2 熱：水分を追い出し、繊維の弾性を回復させる。
- 3 圧力：形を整える。

【問題 1 3】

ランドリーとドライクリーニングの比較についての記述として誤っているものはどれか、1 ～ 3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 ランドリーとドライクリーニングでは、衣類の形くずれ・収縮・脱色が大きいのはランドリーである。
- 2 ランドリーは、水系で、高温の強い機械力に耐える素材を対象としている。一方、ドライクリーニングは、樹脂素材は注意が必要であるが、ほとんどの衣類が対象となる。
- 3 ランドリーとドライクリーニングでは、風合いの変化が大きいのはドライクリーニングである。

【問題 1 4】

界面活性剤に関する記述として、誤っているものはどれか、1 ～ 3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 アニオン系の界面活性剤とノニオン系の薬剤を併用することは差し支えない。
- 2 アニオン系の界面活性剤とカチオン系の薬剤の併用は、両者の結合による相乗効果が期待される。
- 3 洗剤の主成分である界面活性剤には、アニオン系、カチオン系、ノニオン系、両性イオンの 4 タイプがある。

【問題 15】

ランドリーにおける洗濯処理についての記述として、誤っているものはどれか、1～3 から一つ選んでその番号を解答用紙に記入しなさい。

- 1 本洗いは、石けん又は洗剤を使用し、アルカリ剤（メタ珪酸ナトリウム）を加える。アルカリ剤は、pH を 7～8 に保つことで洗剤の洗浄を助ける。また漂白剤も併用する。
- 2 すすぎは、水量を多めにし、すすぎ温度は、初回は洗濯温度より 10℃以上下げず、2 回目以降は常温でよい。
- 3 糊付けは、布に光沢、ハリを与える。また、繊維に汚れが直接付かないようにし、付着した汚れが容易に取れるようにする効果もある。

